官報告

官報告事項

内閣は、財政法第46条第２項の規定によって、平成22年度第３・四半期における予算使用の状況を次のとおり報告する。

平成22年度第３・四半期予算使用の状況（財務省調査）

１．一　般　会　計

(1)　概　　要

平成22年度第３・四半期中における収納済歳入額は、28,700,267,002千円であって、これに対して当期中における支出済歳出額は、21,339,836,253千円であり、収納済歳入額が支出済歳出額を超過する額は、7,360,430,749千円である。

(2)　歳　　入

平成22年度第３・四半期中の収納済歳入額は、28,700,267,002千円であって、歳入予算額96,728,392,685千円に対して29.6％（前年同期25.7％）の収入割合となる。これを前年同期26,431,414,698千円に比べると2,268,852,304千円の増加となる。

これは、公債金において1,550,559,767千円の減少があったが、租税及印紙収入において2,090,294,946千円、前年度剰余金受入において1,629,984,227千円の増加があったこと等のためである。

以下、その性質別内訳についてみると次のとおりである。

（単位千円　千円未満切捨）

区　　分	22年度第３・四半期	前　年　同　期
租税及印紙収入	8,723,850,334	6,633,555,387
官業益金及官業収入	4,307,096	3,788,294
政府資産整理収入	37,317,566	32,004,034
雑収入	313,973,593	220,673,031
公債金	13,479,999,691	15,030,559,458
前年度剰余金受入	6,140,818,720	4,510,834,492
計	28,700,267,002	26,431,414,698

また、当期末における収納済歳入額は、58,732,832,557千円であって、歳入予算額（96,728,392,685千円）に対して60.7％（前年同期58.6％）の収入割合となる。

なお、上記収納済歳入額（58,732,832,557千円）に、国税収納金整理資金から一般会計への組入未済額8,276,309,008千円を加えると当期末までの収納済額は、67,009,141,566千円となり、歳入予算額（96,728,392,685千円）に対して69.2％（前年同期65.0％）の収入割合となる。

(3)　歳　　出

平成22年度第３・四半期中の支出済歳出額は、21,339,836,253千円であって、歳出予算現額100,668,749,098千円に対して21.1％（前年同期20.7％）の支出割合となる。これを前年同期22,164,472,330千円に比べると824,636,077千円の減少となる。

これは、地方交付税交付金において375,348,794千円の増加があったが、道路整備事業費社会資本整備事業特別会計へ繰入において413,472,629千円、介護保険制度運営推進費において382,455,036千円の減少があったこと等のためである。

以下、所管別内訳についてみると次のとおりである。

（単位千円　千円未満切捨）

所　　管	22年度第３・四半期	前　年　同　期
皇室費	1,177,080	1,477,834
国会	44,174,784	35,032,518
裁判所	87,702,324	90,441,455
会計検査院	4,739,685	4,677,301
内閣	17,777,249	18,503,269
内閣府	104,281,575	136,579,678
総務省	4,487,544,828	4,088,704,604
法務省	184,634,644	183,859,003
外務省	134,236,491	137,965,998
財務省	4,528,833,142	4,499,980,185
文部科学省	1,452,412,031	1,624,091,401
厚生労働省	7,033,709,575	8,031,213,660
農林水産省	747,316,975	453,191,739
経済産業省	433,652,208	392,419,123
国土交通省	894,303,897	1,301,215,320
環境省	117,959,366	69,751,594
防衛省	1,065,380,393	1,095,367,639
計	21,339,836,253	22,164,472,330

また、当期末における支出済歳出額は、67,662,671,244千円であって、歳出予算現額（100,668,749,098千円）に対して67.2％（前年同期66.7％）の支出割合となる。

以上の詳細は、別表第１のとおりである。

㈱　上記の各計数は、千円未満を切り捨てている。

２．特　別　会　計

(1)　歳　　入

平成22年度第３・四半期中の各特別会計の収納済歳入額合計は、78,741,991,317千円であって、歳入予算額合計390,345,431,137千円に対して20.1％（前年同期21.0％）の収入割合となる。これを前年同期81,006,574,772千円に比べると2,264,583,454千円の減少になる。

これは、国債整理基金特別会計において2,712,242,239千円の増加があったが、財政投融資特別会計財政融資資金勘定において4,039,611,594千円の減少があったこと等のためである。

また、当期末における収納済歳入額合計は、277,911,789,452千円であって、歳入予算額合計（390,345,431,137千円）に対して71.1％（前年同期71.0％）の収入割合となる。

なお、国税収納金整理資金からの組入未済額28,507,820千円がある。

(2)　歳　　出

平成22年度第３・四半期中の各特別会計の支出済歳出額合計は、69,877,598,847千円であって、歳出予算現額合計382,078,895,207千円に対して18.2％（前年同期18.8％）の支出割合となる。これを前年同期71,940,319,492千円に比べると2,062,720,645千円の減少となる。

これは、交付税及び譲与税配付金特別会計交付税及び譲与税配付金勘定において939,313,626千円、国債整理基金特別会計において915,812,441千円の増加があったが、財政投融資特別会計財政融資資金勘定において3,938,631,573千円の減少があったこと等のためである。

また、当期末における支出済歳出額合計は、274,107,284,633千円であって、歳出予算現額合計（382,078,895,207千円）に対して71.7％（前年同期73.7％）の支出割合となる。

以上の詳細は、別表第２のとおりである。

㈱　上記の各計数は、千円未満を切り捨てている。